

Rhythm of Green

石橋文化センター情報誌 みどりのリズム

September, 2021
Vol.386

9



久留米市美術館 2階

開館5周年記念

九州洋画Ⅱ：大地の力 — Black Spirytus 9月18日から開催

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、掲載内容に関して変更場合があります。またご来園の際は、マスク着用や手洗い・消毒、咳エチケットなどにご協力お願いします。なお、発熱や体調不良の場合は、来園をお控えくださいますようお願いいたします。



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

2階

開館5周年記念 九州洋画Ⅱ：大地の力—Black Spirytus

9月18日(土)——12月12日(日)

九州洋画—それは継承と再生の物語。

本年11月、久留米市美術館は開館5周年を迎えます。それを記念し、9月18日より記念展覧会「九州洋画Ⅱ：大地の力」を開催いたします。2016年の開館記念展も「九州洋画」でした。このタイトルは、九州の近代洋画を中心に収集・展示し、調査・研究を続ける私たちの姿勢を示すものでした。今回の展覧会では、同じタイトルのもと、改めて「九州の洋画」を貫いて流れるものを考えます。

西洋絵画技法の導入と普及には九州の画家たちが大きく貢献しましたが、その背景には、近代への転換期にいち早く西欧の技術を取り入れた先見性と、さらに遡れば、豊かな大地のもと、古代より周辺諸国と、また、鎖国時代にも海外との接点を持ってきたような歴史・地理を背景とした様々な文化的アドバンテージがありました。

本展は、風土や歴史、神話を含む物語や地誌、師弟・友人間のつながりなどを辿りながら、九州に生まれ、あるいは育った画家たちの作品に受け継がれてきたものを探そうとする一つの試みです。そのヒントとしたのは「黒」という色と「ざらざらとした手触り」。大地の色と生活実感と言い換えてもよいかもしれません。

明治以来150余年の間に、芸術をめぐる状況も大きく変化しました。地に足をつけ、絵画とは何かを問いながら描き続けてきた画家たちが、どのようなバトンを渡してきたのかを一緒にご覧いただきたいと思います。



黒田清輝《プレハの少女》1891年
石橋財団アーティゾン美術館



野見山暁治《ぼくの生まれた川オンガ》1992年 田川市美術館
©Gyoji Nomiyama 2021/JAA2100201

開館5周年記念 九州洋画Ⅱ

大地の力

Black Spirytus

入館料 一般1000円(800円)、シニア700円(500円)、大学生500円(300円) 高校生以下無料

※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上 ※上記料金にて、石橋正二郎記念館もごらんいただけます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている 方とその介護者1名は、一般個人料金の半額(500円)となります。

※前売券はチケットぴあ、ローソンチケット取り扱い店などにて600円で販売(Pコード685-529、Lコード86702)

※10/2、3はガーデンコンサートにあわせ18:00迄延長開館。17:00以降入館無料。



作品紹介

実際の火災現場に取材した作品。横幅2m50cmを超える大きな画面に、赤・青・黄の三原色で表された炎は、まるで生きもののようにながり、画面の中央部分では、今まさに家屋の柱に燃え移ろうとしています。一方、炎の光をうけて陰となった家屋の骨組みは、川の砂を混ぜて色価を調整したという黒と緑の抑えられた色彩で描かれ、曲線を使わない水平線と垂直線のみで強靱な画面を構成。その色彩と構図の対比は、奔放な炎の動きを律しています。

海老原喜之助《燃える》1957年 新潟県立近代美術館・万代島美術館

関連イベント

■ トークイベント 共同ホール／要申込み(無料)

行くか 戻るか とどまるか ～それぞれの上京ものがたり

日時 2021年10月23日(土) 13:30-16:00(13:00開場)

出演 菅章氏(大分市美術館館長) / 林田龍太氏(熊本県立美術館学芸課参事)
森山秀子(久留米市美術館副館長)

内容 坂本繁二郎や海老原喜之助からネオ・ダダまで、作家と故郷とのかわりについてシンポジウム形式でお話をうかがいます。

会場 共同ホール(石橋文化センター内)

定員 200名

申込 10月5日(火)まで下記方法で ※聴講無料

参加を希望される方の氏名(2名まで可)と代表の方の郵便番号、住所、氏名、連絡の取れる電話番号を記入の上、ハガキまたはFAXで久留米市美術館(トークイベント係)へ。応募多数の場合は抽選となります。結果は10月12日(火)までに応募者全員にお知らせします。美術講座等その他のイベントにつきましては開催が決まり次第、HP等でご案内いたします。

1階 | 展覧会スケジュール

■ 第72回 西部水彩公募展

9月14日(火)～9月19日(日) 一般300円 高校生以下無料

■ 第70回 久留米市総合美術展

第50回 久留米連合文化会会員美術展 同時開催

I期: 10月 6日(水)～10月10日(日) 彫刻・書道・デザイン

II期: 10月13日(水)～10月17日(日) 洋画・工芸

III期: 10月20日(水)～10月24日(日) 日本画・水墨画・写真
入場無料

石橋正二郎記念館 SHOJIRO ISHIBASHI MEMORIAL MUSEUM

郷里久留米の発展に尽くした石橋正二郎の歩みやひととなり、正二郎によって建設寄贈された石橋文化センターの60余年の歴史を紹介しています。

一番奥に設置されたコーナーが「石橋コレクション絵画展示」で、正二郎と美術のかかわりを紹介しています。ここは、年に数回展示替えをしており、9/18からは第16期「正二郎と九州洋画2」のテーマで、正二郎と九州洋画のかかわり第二弾を紹介します。

入館料 一般・シニア・大学生300円、高校生以下無料

休館日 月曜日(9/20は開館)、緊急事態宣言等の発出に伴い8/31～9/12まで臨時休館いたします。

14日～17日は展示替えのため休館いたします。

※久留米市美術館主催展覧会のチケットをお持ちのお客様は無料で入館できます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳等の交付を受けている方とその介護者1名は、一般個人料金の半額(150円)となります。



古賀春江《海水浴の女》1923年
石橋財団アーティゾン美術館蔵



久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 久留米市野中町1015番地 TEL: 0942-39-1131 FAX: 0942-39-3134

URL: <https://www.ishibashi-bunka.jp/kcam>

開館時間 / 10:00～17:00(入館は16:30まで) 休館日 / 月曜日(9/20は開館)、8/31～9/17までは展示替えのため休館いたします。

f <https://www.facebook.com/KurumeCityArtMuseum/>

t <https://twitter.com/KurumeCityArtMu>



■ 久留米市美術館開館5周年記念イベント

石橋文化センターの秋は、バラにもみじに、そして、音楽に美術。 いろいろな秋が楽しめる

開館5周年を記念した展覧会を美術館で開催するほか、園内やギャラリー&楽水亭で秋を堪能できます。また、石橋文化ホールでは、コンサートや講座をお楽しみください。

また期間限定で、紅葉とアートプロジェクト作品の夜間ライトアップを行います。園内の幻想的な芸術空間で、芸術の秋を満喫することができます。



カフェ&ギャラリーショップ楽水亭

営業時間／10:00～17:00 場所／石橋文化センター園内 美術館東側

楽水亭は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い営業しています。安心してご来店ください。
なお、ご来店いただくお客様には、マスク着用、手指消毒、混雑時の入場制限へのご協力をお願いしております。

● 楽水亭九州フェア

「九州洋画Ⅱ：大地の力」開催を記念して、九州各県の美味しいもの、可愛いものを集めました。
カフェでは福岡県の名物「焼きカレー」や宮崎県の名物「チキン南蛮」、長崎県の名物「長崎皿うどん」をお召し上がりください。
ギャラリーでは沖縄県の雑貨や熊本県小国町のコーヒーや干し芋を販売します。飲みやすい味で楽水亭スタッフにも評判のZENZO COFFEEはこれからの季節におすすめです。



ZENZO COFFEE 850円/100g、干し芋 350円～



ふっくらがま口 3,300円

ガーデンテラスコンサート2021

10月2日(土)・3日(日) 18:00開演(17:30開場、18:40終演予定) 美術館横ガーデンテラス 入場無料

自然豊かな石橋文化センター園内で、初秋の夕暮れを眺めながらゆっくりと生演奏をお楽しみください。

美術館と記念館は18時まで延長開館します(入館17時30分まで)。17時以降入館無料です。コンサートと合わせて芸術の秋をご体感ください。

※雨天中止 ※新型コロナウイルス感染症拡大状況により中止する場合がございます。

出演者

2日
(土)



稲吉 えりな(オーボエ)



吉本 令子(ピアノ)

3日
(日)



安武 玄晃(サクソ)



福澤 修(ピアノ)

ミュージアムコンサート～マンドリンで贈る名曲～

10月27日(水) 14:00開演 石橋文化ホール

高い演奏技術から繰り出される上質かつ多彩な音色で数々の名曲の世界を表現し、多くの人々を魅了するデュオ、高橋和彦氏(マンドリン)と夏川由紀乃氏(ピアノ)を迎え、親しまれた名曲を中心に演奏をお届けします。展覧会と併せて、ぜひお楽しみください。

入場料 一般1,000円、シニア(65歳以上)700円、大学生500円 高校生以下無料

※みゅ〜ず会員は無料もしくは割引価格でご入場できます。※入場料には、久留米市美術館および石橋正二郎記念館の入館料を含みます。

チケット販売・問合せ

石橋文化センター TEL0942-33-2271/FAX0942-39-7837(受付9:00~17:00、月曜日は休館)

情報サテライト TEL0942-36-3080(受付10:00~18:00、臨時休館日あり)



夏川 由紀乃(ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部演奏科卒業。第22回ピティナピアノコンペティション特級2台ピアノ部門優秀賞受賞等、数々の賞を受賞。オペラデュエット「Hue(ヒュー)」の伴奏者として東京芸術劇場での「ニューイヤーコンサート」出演。フォレストヒルレコーズよりソロCD「Sora」をリリース。ピアノを下田直子、落合敦、江崎光世、岡本美智子の各氏に師事。ピュウ音楽教室(福岡市、下関市)、フォレストヒルミュージックアカデミー(福岡市)各講師。福岡市在住。



高橋 和彦(マンドリン)

マンドリンを京都で川口雅行氏に師事。日本マンドリン独奏コンクールの審査員を務める。九州交響楽団定期演奏会や松山バレエ団公演にマンドリン奏者として参加。フォレストヒルレコーズよりCDを5枚リリース。現在、数少ないソリストとして各地でコンサート、講習会を開催。ピュウ音楽教室(福岡市、下関市、宇都市)、フォレストヒルミュージックアカデミー(福岡市)、大分ギターアカデミー 各マンドリン科講師。日本マンドリン連盟会員。鹿児島大学農学部獣医学科中退。福岡市在住。

『九州洋画Ⅱ：大地の力』を楽しむ講座

11月9日(火) 14:00~(60分程度)

久留米市美術館で開催中の展覧会『九州洋画Ⅱ：大地の力 — Black Spirytus』(P.2参照)について、画家と作品にまつわるエピソードなどをお話します。

講師 佐々木 奈美子(久留米市美術館学芸員)

会場 石橋文化ホール

受講料 ミュージアム会員 無料、スタンダード会員500円、一般1,000円

※久留米市美術館入館料及び石橋正二郎記念館入館料を含む

申込み 石橋文化センターへ要予約(TEL 0942-33-2271/FAX 0942-39-7837)

※お名前、ご連絡先、(会員番号)をお伝えください。



青木繁《輪転》1903年
石橋美術館アーティゾン美術館

コラム ―――。ピアノの物語

石橋文化ホールには2台のピアノがあります。2台共スタインウェイ社のドイツ工場(ハンブルグ)で製作されたフルコンサートグランドピアノ「D-274」です。1台は1967年製、もう1台は1985年製です。

ピアノの「製造番号」って、皆さん知ってますか？

スタインウェイピアノには1台1台に製造番号があり、オーバーホールや修理履歴は「スタインウェイジャパン」によって管理されています。石橋文化ホールのスタインウェイは、1967年製(製造番号No403520)、1985年製(製造番号No475955)です。



No403520は、1968年に石橋文化ホール開館5周年を記念して石橋財団より寄贈されたものです。

石橋財団からの依頼で、ピアニスト安川加壽子^{やすかわ かずこ}さん(演奏や教育を通じて日本の音楽界に計り知れない貢献をした日本のピアニスト)が当時、横浜の倉庫に上陸した約20台のスタインウェイピアノの中から選定され、同年5月には、ピアノ開きとして「安川加壽子ピアノ独奏会」を開催しました。

No475955は、1986年に石橋文化センター開園30周年を記念して久留米市が購入したもので、翌年2月には、地元の気鋭ピアニスト・南幸是朗、戒重守、田中星治の各氏を招き、「ピアノ三人展」をピアノ開きとして開催しました。



現在、ピアノソロコンサートでは主にこちらを使用しております。

2台共、艶消し塗装が施され、現在では製造されていないバージョンで、屋根まで艶消しになっています。

これは、ピアノコンチェルトの時に効果を発揮し、他の演奏者へのステージ照明の乱反射を和らげてくれます。



共同ホールには、フルコンサートグランドピアノ「KAWAI-EX」があります。

現在、カワイ楽器のピアノはShigeru Kawaiですが、KAWAI-EXは、1981年に誕生し、1985年にはショパン国際ピアノコンクール公式ピアノに認定され、同年に共同ホールも開館しています。

以上、石橋文化センターが所有するフルコンサートグランドピアノの物語でした。
[施設課 原 朋子]

ちょっと気軽にスタインウェイ&KAWAI EX

石橋文化センターでは、皆さまにフルコンサートピアノを弾いていただける「ちょっと気軽にスタインウェイ&KAWAI EX」を開催しております。音楽ホールで“ちょっと気軽に”最高のピアノを弾いてみませんか♪世界最高峰のピアノの音色をご堪能ください。

開催日時のご案内はホームページでお知らせします。



石橋文化ホール スタインウェイ



共同ホール KAWAIEX

YouTubeチャンネル 『バラの植え方・育て方講座』配信中

～これをみれば、あなたもバラ博士に近づくこと間違いなし！

石橋文化センターの園内には、400品種2600株の色とりどりのバラが咲き、シンボリックな花のひとつです。動画では、バラ教室講師・嘉悦隆博さんを迎え、育て方を分かりやすく簡単に説明しています。

また、ガーデナーにはおなじみの「みんなの趣味の園芸」(NHK出版社)のホームページでも動画が紹介されました。こちらをご覧ください！



公式YouTubeチャンネル

バラの植え方・育て方講座【再生リスト】／

知る、育てる、つながる

みんなの
趣味の園芸

NHK出版



みんなの趣味の園芸【公式サイト】／



バラの新苗植え講座



最新の仕上げ 支那と安定

チケット情報 TICKET INFORMATION

久留米市美術館

9/18(土)～12/12(日)
10:00 - 17:00
開館5周年記念
九州洋画II:大地のカーBlack Spirtus
問 久留米市美術館 tel.0942-39-1131
前売り600円
文化センター窓口
～9/17
情報サテライト
～12/12

石橋文化ホール

10/27(水)
14:00
ミュージアムコンサート
～マンドリンで贈る名曲～
問 石橋文化センター
tel.0942-33-2271
一般1,000円
シニア(65歳以上)700円
大学生500円
高校生以下無料
※久留米市美術館と石橋正二郎記念館の入館料を含む。

11/3(水・祝)
15:00
NAOTO×沖仁 with 榊原大
アコースティックライブ
問 石橋文化センター
tel.0942-33-2271
全席自由
一般3,000円
大学生以下2,000円
(当日各500円増)

※下記内容は8月20日現在のものです。販売状況により、お取扱いできない場合もございますので、何卒ご了承ください。

★石橋文化センター情報サテライト(久留米シティプラザ2階)でも文化事業チケットを取り扱っております。(TEL0942-36-3080 10時～18時、臨時休館あり)

問 お問合せ

石橋文化センター窓口

販売中 久留米くるくるチケット
グルメ、お土産、体験など、久留米が誇る自慢のメニューを、お得に安心して楽しめるチケット。情報サテライト(久留米シティプラザ2階)でも販売中。
問 久留米くるくるチケット事務局
tel.0942-27-5616
4枚綴り2,000円
(500円券×4枚)
最新情報はコチラ⇒



城島インガットホール

10/16(土)
14:00
新崎誠実ピアノリサイタル～ドビュッシーの世界～
問 城島インガットホール
tel.0942-62-2110
全席指定
一般1,500円
高校生以下1,000円
(当日各200円増)

おりなす八女

10/31(日)
15:00
木嶋真優ヴァイオリン・リサイタル
問 おりなす八女
tel.0943-22-5332
全席指定
一般3,500円
高校生以下1,000円

久留米市立中央図書館 KURUME CITY CENTRAL LIBRARY

～ 休館のお知らせ ～

中央図書館は、空調設備等改修工事のため、以下の期間は休館します。
ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力のほどお願いします。

期 間 令和3年10月1日(金)から令和4年1月4日(火)まで

場 所 中央図書館

- ・休館中は、六ツ門図書館及び市内図書館・図書関連施設をご利用ください。
- ・休館中は、六ツ門図書館は毎日開館します。(第4木曜日と令和3年12月28日から令和4年1月4日を除く)
- ・移動図書館の運行、視覚障害者等への配送等の一部サービスは継続します。



久留米市立中央図書館
KURUME CITY CENTRAL LIBRARY
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

〒839-0862 久留米市野中町970番地1
TEL:0942-38-7116 FAX:0942-38-7183
URL: https://www.city.kurume.fukuoka.jp/
1060manabi/2050library/

開館時間 (火～金) 10:00～20:00
(土・日・祝) 10:00～18:00
休 館 日 月曜(祝日は開館)、毎月第4木曜

久留米市美術館開館5周年記念 NAOTO×沖仁 with 榊原大アコースティックライブ

11月3日(水・祝) 15:00開演(14:00開場)※みゅ〜ず会員優先入場時間13:30~14:00 石橋文化ホール

クラシックからポップスまでジャンルにとらわれない音楽センスと華麗なパフォーマンスで人気のヴァイオリニスト NAOTOと、スペインのフラメンコギターコンクール国際部門で優勝し、日本人として初の快挙を成し遂げたフラメンコギターの第一人者 沖仁、そして、盟友 榊原大とともに贈りする名曲の数々と白熱のステージです。

NAOTO×沖仁の奇跡の競演を、石橋文化ホールでどうぞお楽しみください。

出演者 NAOTO(ヴァイオリン)、沖仁(フラメンコギター)
榊原大(ピアノ)

演奏予定曲 ピゼー:ハバネラ「カルメン」より
ピアソラ:リベルタンゴ
ロドリゴ:アランフェス協奏曲 第2楽章アダージョ
チック・コリア:スペイン

NAOTO:HIRUKAZE(NHK「スタジオパークからこんにちは」テーマ曲)ほか ※演奏曲目は変更になる場合がございます。

入場料 全席自由 一般3,000円・大学生以下2,000円(当日各500円増、学生券は文化センター窓口購入のみ取り扱い)

※メンバーシップみゅ〜ず会員は電話予約可。入場料10%割引(同伴者1名まで)。

また、開場前の13:30~14:00に優先的に入場することができます。

※本コンサートのチケットで、久留米市美術館で開催中の「九州洋画II:大地の力」展を会期中、無料でご覧いただけます。

※本コンサート当日は、美術館は無料開館日となっています。

プレイガイド 石橋文化センター(0942-33-2271) / 情報サテライト(久留米シティプラザ2階・0942-36-3080) / 木下楽器店(0942-38-1111)
チケットぴあ(0570-02-9999・Pコード200-860) / ローソンチケット(<https://l-tike.com/>・Lコード83703)



アコースティックライブHP

表紙イラストレーション **藤村のりこ** 油彩、水彩、クレパスなど、様々な画材や技法を用いて、個展やグループ展を中心に活動。2009年度久留米市芸術奨励賞(洋画)受賞。

私たちは石橋文化センター・久留米市美術館の事業を応援します。

スペシャルパートナー



オフィシャルパートナー



※ すべての掲載催事の内容については、8月20日現在のものです。主催者等の都合により、変更になる場合もありますので、ご了承ください。 ※すべての掲載金額は、消費税および地方消費税を含む金額です。

石橋文化ホール／石橋文化会館／文化センター共同ホール

休館日 月曜日(祝日・振替休日は開館)、年末年始

開園時間 9:00~17:00 ※園内は年中無休。

交通案内 <バス> 西鉄バス①⑨②②②⑤系統 JR久留米駅より約15分、西鉄久留米駅より約5分
「文化センター前」下車 <車> 久留米インターより国道322号線へ車で約10分

駐車場 8:00~22:00 最初の2時間まで200円、以後30分ごとに100円増。
※ただし30分以内の出庫は無料。
入庫から24時間最大1,000円 ※24時間以降30分ごとに100円増
園内利用のバスは、1台500円最長1日まで。(要予約)



石橋文化センター
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

公益財団法人 久留米文化振興会
839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地
Tel 0942 33 2271 Fax 0942 39 7837
9:00~17:00 月曜休館(祝日は開館)
www.ishibashi-bunka.jp



石橋文化センター公式Facebook
<https://www.facebook.com/ishibashibunka>